

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胸壁浸潤肺癌における胸壁合併切除の呼吸機能への影響

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 小濱拓也 (呼吸器センター外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年10月25日～2024年10月31日

目的：骨性胸郭は呼吸において重要な役割を担い、その機能や構造に障害が生じると呼吸機能の低下をきたす。胸壁浸潤肺癌に対する外科治療では胸壁合併切除を行い完全切除を目指す。術後に胸郭の不安定化により呼吸機能低下、呼吸器合併症のリスクが増加するため胸壁再建術を行うことが多い。再建したとしても術前に予想した呼吸機能レベルまで回復しないことも多々ある。胸壁合併切除、再建によりどの程度の呼吸機能の変動が生じるかは現在のところ不明であり、本研究では胸壁浸潤肺癌の手術症例において呼吸機能の予測値と術後実測値の乖離について検討する。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2005年から2022年にかけて肋骨切除を伴う肺癌手術を施行した患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

臨床所見：年齢、性別、喫煙歴、腫瘍サイズ、腫瘍の位置 (腹背側、頭尾側、左右) 等

検査所見：呼吸機能検査 (%VC, %FVC, %FEV1, %DLCO) 等

手術記録：切除肋骨本数、胸壁再建の有無等

治療：術前治療の有無等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

小濱 拓也、呼吸器センター外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971